

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【2053】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目09 スポーツ施設整備事業				
予算区分	款	10	教育費	所属	スポーツ振興課
	項	06	保健体育費		
	目	05	社会体育施設費	連絡先	0594-24-1251
	細目	004	施設整備費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
深谷外田地区にある桑名市土地開発公社保有地	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
桑名市土地開発公社保有の深谷外田地区にスポーツ施設を整備するため、基本設計を行う。	施設の整備事業であるので、行政が主体となって行うものである。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
市民が気軽にスポーツ活動ができ、健康増進につながるよう、スポーツ施設を整備する。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	市民数	人			143,088	143,088	
活動指標	施設整備箇所数	箇所			1	1	
成果指標	施設整備箇所数	%	目標値 実績値		1 1	1	
投入コスト	事業費計			0	0	297	387,967
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金					0
		地方債					368,500
		その他					0
		一般財源				297	19,467
		所要人員 (正職員)	人工	0.00	0.00	0.01	
	所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00		
	人件費合計	千円			68		

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

28年度は土地開発公社から土地の買戻しを行い、翌年度実施する実施設計に備える。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1159】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目02 スポーツ施設維持補修事業				
予算区分	款	10	教育費	所属	スポーツ振興課
	項	06	保健体育費		
	目	05	社会体育施設費	連絡先	0594-24-1251
	細目	003	施設維持補修費		

事業の概要		(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)	
対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	市スポーツ施設 体育館 (3施設)、プール (2施設)、野球場 (5施設) ソフト ボール場 (2施設)、テニスコート (7施設)、その他 (7施設)		公民連携の前進
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	スポーツ施設の整備、改修を行う。		公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	使用者にとって、安全性・利便性の高いスポーツ施設にする。		理由 公共施設の修繕事業であるため、行政が主体となって行うものである。

事業活動と成果		(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)					
区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	施設数	施設	24	26	26	26	
	修繕件数	件	15	9	2	8	
成果指標	利用上で起きた不具合報告件数	件	0	0	0	0	
		目標値 実績値	0	0	0		
投入コスト	事業費計		18,117	1,579	983	60,224	
	財源内訳	国支出金				0	
		県支出金				0	
		地方債				0	
		その他				34,000	
	一般財源	18,117	1,579	983	26,224		
	所要人員 (正職員)	人工	0.08	0.18	0.10		
所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00			
人件費合計	千円	558	1,274	684			

進捗評価		(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)	
<p>成果は計画どおりにあがっているか。</p> <p>○ あがっている</p> <p>● 横ばい</p> <p>○ あがっていない</p> <p>H28年度の方向性</p> <p>○ 拡充 ○ 休止廃止</p> <p>● 現状維持 ○ 見直し</p> <p>○ 縮小</p>	<p>所有する施設の老朽化が進んでいるため、修繕の必要な箇所が増えてきており、限られた予算の中で緊急度の高いものから順に対応している状況。必要な修繕について完全に対応できない状況にあるため、今後、施設の統廃合についても検討する必要があると思われる。</p>		

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1942】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目02 安全管理対策施設整備事業				
予算区分	款	10	教育費	所属	生涯学習課
	項	05	社会教育費		
	目	02	公民館費	連絡先	0594-23-4103
	細目	007	施設整備費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民館利用者	公民連携の前進
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	今後予想される南海・東南海・東海トラフト地震の際の安全管理対策として、桑名市の公民館窓ガラスに「ガラス飛散防止フィルム」を施工する。	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	公民館利用者の安全とともに避難所としての機能を図る。	理由 補助金交付事業のため、市が実施主体となる。

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	公民館数	館	20	20	20	20	
活動指標	ガラス飛散防止フィルム取付館数	館	4	3	1	0	
成果指標	ガラス飛散防止フィルム取付館率	%	目標値 20.0	35.0	40.0	40.0	
			実績値 20.0	35.0	40.0		
投入コスト	事業費計			5,733	4,660	4,875	0
	財源内訳	国支出金	千円	2,200	3,040		0
		県支出金				2,437	0
		地方債					0
		その他		264			0
		一般財源		3,269	1,620	2,438	0
		所要人員 (正職員)	人工	0.03	0.02	0.02	
	所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00		
	人件費合計	千円	209	142	137		

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

窓ガラス飛散防止フィルム施工については、全公民館が対象となることから年次計画により確実に実施していく必要がある。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【897】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 改良住宅整備事業				
予算区分	款	08	土木費	所属	建築住宅課
	項	05	住宅費		
	目	02	小集落改良住宅管理費	連絡先	0594-24-1219
	細目	003	改良住宅整備費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
改良住宅	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ● ある ○ ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
○改良住宅の屋根、外壁等を改修する。 ・平成15年度から取組みを開始 ・平成23年度から「公営住宅等長寿命化計画」により実施(10年間。平成27年度には平成28年度以降の計画見直し) ・平成27年度は深川町(2棟、4戸)、秋葉町(1棟、2戸)、高砂町(3棟、8戸)を実施	民間ストック(借り上げ住宅、家賃補助など)の活用検討
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
予防保全的な維持管理や耐久性向上による改善を計画的に実施することで、住機能及び住環境を向上させる。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	管理戸数	戸	183	183	183	183	
	管理棟数	棟	89	89	89	89	
活動指標	公営住宅等長寿命化計画に基づく整備実施戸数(当年度)	戸	7	8	14	10	
	整備実施累計戸数(平成15年度以降)	戸	139	147	161	171	
成果指標	改修整備率(管理戸数)	%	目標値 76.0 実績値 76.0	80.3 80.3	88.0 88.0	93.4	
	改修整備率(管理棟数)	%	目標値 76.4 実績値 76.4	80.9 80.9	87.6 87.6	93.3	
投入コスト	事業費計			14,123	17,658	30,860	27,348
	財源内訳	国支出金	千円	3,273	4,743	8,413	7,255
		県支出金					0
		地方債		3,600	0		0
		その他			12,915	22,447	20,093
		一般財源		7,250			0
	所要人員(正職員)	人工	0.27	0.53	0.44		
所要人員(嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.20			
人件費合計	千円	1,883	3,752	3,688			

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

平成28年度以降の計画見直しに基づき、今後も計画的に改良住宅の整備を進めていく。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【892】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 市営住宅整備事業				
予算区分	款	08	土木費	所属	建築住宅課
	項	05	住宅費		
	目	01	住宅管理費	連絡先	0594-24-1219
	細目	004	市営住宅整備費		

事業の概要 (事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
公営住宅 (特目住宅及び一般向け改良住宅含む)	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ● ある ○ ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
○公営住宅の屋根、外壁等を改修する。 ・平成9年度から取組みを開始 ・平成23年度から「公営住宅等長寿命化計画」により実施(10年間。平成27年度には平成28年度以降の計画見直し) ・平成27年度は、秋葉町公営住宅(4棟、8戸)を実施	民間ストック(借り上げ住宅、家賃補助など)の活用検討
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
予防保全的な維持管理や耐久性向上による改善を計画的に実施することで、住機能及び住環境を向上させる。	

事業活動と成果 (上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	管理戸数	戸	964	964	964	964	
	管理棟数	棟	178	178	178	178	
活動指標	公営住宅等長寿命化計画に基づく整備実施戸数(当年度)	戸	18	15	8	18	
	整備実施累計戸数(平成9年度以降)	戸	578	593	601	619	
成果指標	改修整備率(管理戸数)	%	目標値 実績値 60.0 60.0	61.5 61.5	62.3 62.3	64.2	
	改修整備率(管理棟数)	%	目標値 実績値 61.2 61.2	62.9 62.9	65.2 65.2	65.7	
投入コスト	事業費計			22,067	34,074	16,416	33,764
	財源内訳	国支出金	千円	5,956	13,972	2,553	10,389
		県支出金					0
		地方債		6,800	0		0
		その他			20,102	13,863	23,375
		一般財源		9,311			0
	所要人員(正職員)	人工	0.38	0.59	0.60		
所要人員(嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.30			
人件費合計	千円	2,650	4,177	5,122			

進捗評価 (事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方角性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

平成28年度以降の計画見直しに基づき、今後も計画的に公営住宅の整備を進めていく。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1701】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 指定管理者制度導入経費				
予算区分	款	03	民生費	所属	福祉総務課
	項	01	社会福祉費		
	目	01	社会福祉総務費	連絡先	0594-24-1168
	細目	014	指定管理者制度導入経費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
指定管理者を再選定する福祉施設	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
指定管理者再選定に向けて、指定管理者選定委員会を設置する。 ・27年7月 第3回選定委員会開催 (募集要項の決定) ・27年10月 第4回選定委員会開催 (候補者の選定)	特に考えられない
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
施設管理運営にかかる財政負担軽減と民間の手法を取り入れた市民サービスの向上を目指し、適切な運営方法・管理者を決定する。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	施設数	施設	7	7	6	6	
活動指標	選定委員会開催回数	回	1	2	2	-	
成果指標	施設管理経費縮減率	% 目標値	-	-	-	-	
		% 実績値	-	-	-	-	
投入コスト	事業費計			0	124	125	0
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金					0
		地方債					0
		その他					0
		一般財源			124	125	0
	所要人員 (正職員)	人工	0.00	0.85	0.85		
所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00			
人件費合計	千円		6,017	5,812			

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

3年間の指定管理業務を開始した。適正な指定管理料の算定に努める。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【2071】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目07 施設改修事業				
予算区分	款	02	総務費	所属	桑名市人権センター
	項	01	総務管理費		
	目	15	人権政策費	連絡先	0594-27-6677
	細目	002	人権センター費		

事業の概要 (事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
桑名市民	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
○人権啓発の拠点施設として、市内中心部のメディアライヴに設置する。 ○人が集まりやすい場所で、啓発のための展示スペースを設ける。 ・常設展示 ・特別企画展の開催	改修事業完了。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
さまざまな人権問題に対する正しい認識と理解を深め、人権意識の向上、高揚を図る。	

事業活動と成果 (上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	市民数	人			143,088	143,258	
活動指標	常設展来場者数	人			1,172	1,172	
	企画展来場者数	人			3,135	3,135	
成果指標	人権センター来館者数	目標値			3,700	3,700	
		実績値			4,859		
		目標値					
投入コスト	事業費計			0	0	10,032	0
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金					0
		地方債					0
		その他					0
		一般財源					10,032
	所要人員 (正職員)	人工	0.00	0.00	0.75		
所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00			
人件費合計	千円				5,128		

進捗評価 (事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

同ビルの図書館や保健センターに訪れた市民が、人権センターの展示室にも気軽に来ていただけるように、工夫した常設展示・特別企画展示を行う。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【919】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 多度町総合支所施設維持補修事業				
予算区分	款	02	総務費	所属	多度地域振興課
	項	01	総務管理費		
	目	10	総合支所費	連絡先	0594-49-2002
	細目	002	施設維持補修費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
多度町総合支所	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
○多度町総合支所の施設・機械設備等の補修を実施する。 ・建物関係修繕(窓、建具ほか) ・機械、設備関係修繕(電気、機械、空調ほか)	施設設置管理者及び使用者は市であり、民間関与は妥当ではない。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
施設修繕を適正に行うことにより、庁舎機能の維持を図り、来庁者、職員が快適、安全に利用できるようにする。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初
対象指標	施設数	施設	1	1	1	1
	総合庁舎修繕件数	件	30	21	23	20
成果指標	総合支所庁舎修繕実施率	%	目標値 100.0 実績値 100.0	100.0 100.0	100.0 100.0	100.0
	施設維持管理上の不具合件数	件	目標値 0 実績値 0	0 0	0 0	0
投入コスト	事業費計		4,537	2,847	1,975	2,000
	財源内訳	国支出金				0
		県支出金				0
		地方債				0
		その他				0
		一般財源	4,537	2,847	1,975	2,000
		所要人員(正職員)	人工	0.12	0.12	0.25
	所要人員(嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00	
	人件費合計	千円	837	850	1,709	

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

消耗品費の削減、清掃面積の精査、冷暖房の徹底管理など、あらゆる経費を最小限で執行し、削減に努めている。今後、更なる経費削減のためには、デマンド監視装置及び職員一人ひとりが桑名市省エネオフィスプランに基づき、運用していく必要がある。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【971】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目08 小学校施設維持補修事業				
予算区分	款	10	教育費	所属	教育総務課
	項	02	小学校費		
	目	01	学校管理費	連絡先	0594-24-1237
	細目	003	学校管理運営費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
桑名市立小学校	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
○ 快適な教育環境を保つため小学校施設を維持補修する。 (主な実績) ・日進小学校都市ガス管入替 ・水道設備等修繕 ・その他維持補修修繕	法的に管理者が設置者に限定されるため
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
学校施設を適切に維持管理することにより、施設設備の性能維持及び児童の安全確保を図る。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	市立小学校数	校	28	27	27	27	
活動指標	修繕件数	件	600	529	449	600	
成果指標	施設維持管理上の不具合件数	目標値	0	0	0	0	
		実績値	0	0	0	0	
投入コスト	事業費計		67,359	60,863	52,577	47,595	
	財源内訳	国支出金					0
		県支出金					0
		地方債					0
		その他	407	412	411	419	
		一般財源	66,952	60,451	52,166	47,176	
	所要人員 (正職員)	人工	0.27	0.30	0.35		
所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.18	0.55	0.25			
人件費合計	千円	2,493	4,052	3,243			

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充 ○ 休止廃止
- 現状維持 ○ 見直し
- 縮小

建物及び施設の経年劣化が進んでいる。計画的な大規模改修等を実施する必要がある。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【439】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 保育所施設維持補修事業				
予算区分	款	03	民生費	所属	子ども家庭課
	項	02	児童福祉費		
	目	05	保育所費	連絡先	0594-24-1433
	細目	004	施設維持補修費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
市が維持管理する保育所	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
○保育所舎、遊具の老朽化に伴う修繕をする。 ・空調設備への改修、出入口などの改修を実施。突発的、緊急性の高いものは、修繕を実施していく。	公立保育所の施設修繕においては、民間関与の可能性はない。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
入所している施設の老朽部分の修繕を進め、子どもが安全に過ごすことができる。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	施設数	施設	9	9	9	9	
	修繕件数	件	80	80	80	85	
成果指標	施設維持管理上の不具合件数	件	80	80	80	90	
		目標値 実績値	83	55	85		
投入コスト	事業費計		7,101	9,751	5,108	5,332	
	財源内訳	国支出金	千円		0	0	0
		県支出金		735	0	0	0
		地方債					
		その他		120	1,744	1,052	3,972
		一般財源		6,246	8,007	4,056	1,360
	所要人員 (正職員)	人工	0.06	0.00	0.10		
所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.35			
人件費合計	千円	418		1,874			

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

子どもの安全を最重視して、この事業を行っていく。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【705】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 北勢公設地方卸売市場組合負担金				
予算区分	款	06	農林水産業費	所属	農林水産課
	項	01	農林水産業費		
	目	02	農林水産業総務費	連絡先	0594-24-1203
	細目	005	北勢公設地方卸売市場組合負担金		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
北勢公設卸売市場 ・供給対象地域 (桑名市、四日市市、鈴鹿市、いなべ市、木曾岬町、東員町、朝日町、川越町、菰野町)	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ● ある ○ ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
○北勢公設地方卸売市場組合 (桑名市・四日市市・鈴鹿市で構成する一部事務組合) に対して、建設時の起債償還金18%の負担割合で29年まで毎年度負担する。 ○平成19年~21年の三年間で民営化に向けた施設整備事業を実施し、事業費の18%を負担する。	済
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
市場での取扱 (青果と水産) を増やす。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	市場数	施設	1	1	1	1	
	供給対象人口	人	795,000	795,000	795,000	795,000	
活動指標	起債償還金額+施設整備費	千円	5,193	5,193	5,193	5,193	
成果指標	取扱数量 (青果+水産)	目標値	60,000	60,000	60,000	60,000	
		実績値	50,291	48,529	45,004		
投入コスト	事業費計		千円	5,193	5,239	9,122	2,662
	財源内訳	国支出金					0
		県支出金					0
		地方債					0
		その他					0
		一般財源		5,193	5,239	9,122	2,662
	所要人員 (正職員)	人工	0.01	0.02	0.05		
所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00			
人件費合計	千円	70	142	342			

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

負担割合に応じて負担する。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1740】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 六華苑施設整備事業				
予算区分	款	10	教育費	所属	文化課
	項	05	社会教育費		
	目	09	六華苑費	連絡先	0594-24-1361
	細目	001	施設整備費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
市民・来場者	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
施設の充実を図り、魅力アップにつなげていく。	解説を歴史案内人に依頼している。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
六華苑の整備を行い、より多くの来場者に来ていただけるように図っていく。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初
対象指標	施設数	件	1	1	1	1
活動指標	修理件数	件	1	1	2	0
成果指標	工事進捗率	%	50.0	100.0	100.0	100
			0	100.0	100.0	
投入コスト	事業費計		10,947	15,956	8,651	0
	財源内訳	国支出金				0
		県支出金				0
		地方債				0
		その他				0
		一般財源	10,947	15,956	8,651	0
		所要人員 (正職員)	人工	0.30	0.50	0.30
	所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00	
	人件費合計	千円	2,092	3,540	2,051	

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

耐震化工事を行う必要がある。
今後、計画的に整備を行っていく。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【168】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目02 本庁舎等施設維持補修事業				
予算区分	款	02	総務費	所属	公共施設マネジメント課
	項	01	総務管理費		
	目	06	財産管理費	連絡先	0594-24-1153
	細目	001	庁舎管理費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
本庁舎、北庁舎及び庁舎南駐車場	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ● ある ○ ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
○本庁舎、南駐車場の機能を維持するため、各種修繕を実施した。また、老朽化したガス管取替工事を実施した。 ・本庁舎関係修繕 配管つまり、雨漏り、水漏れ、トイレ温水洗浄便座取替、火災報知設備修理など小破修繕 ・庁舎南駐車場関係修繕 バス車庫シャッター、火災報知設備修理など小破修繕	庁舎等施設の維持補修業務について、民間企業のノウハウを利用して、効率化を図る余地がある。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
来庁者の方が安全かつ安心に施設をご利用いただけるよう、また職員が働きやすい環境を整えるため、各施設の維持補修を行うものである。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	施設数	施設	3	3	3	3	
活動指標	実施項目件数	件	49	41	29	30	
成果指標	進捗率	%	目標値 100	100	100	100	
			実績値 100	100	100		
投入コスト	事業費計			6,294	16,983	3,821	3,100
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金					0
		地方債					0
		その他			249	56	0
		一般財源		6,294	16,734	3,765	3,100
	所要人員 (正職員)	人工	0.45	0.55	0.61		
所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00			
人件費合計	千円	3,138	3,894	4,171			

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

本庁舎内の雨漏りや駐車場の舗装の劣化といった施設や設備の老朽化が進行しているため、修繕計画を立て、必要な修繕を計画どおり実行し、適正な維持管理に努める。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【663】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目02 大型共同作業場施設維持補修事業				
予算区分	款	07	商工費	所属	商工観光課
	項	01	商工費		
	目	02	商工業振興費	連絡先	0594-24-1256
	細目	007	大型作業場管理費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
大型共同作業場	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
○桑名市大型共同作業場の施設維持補修を行う。 (修繕実績) 27年度：2件 サッシ鍵修繕・下水蓋取替 26年度：2件 (雨漏り、白蟻) 25年度：5件 ・女子トイレ換気扇、玄関ドア、玄関屋根雨漏り、看板、蛍光灯 24年度：4件 23年度：2件 22年度：5件	市の所有物に対する施設維持補修事業であるため民間関与は適さない。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
施設の適正な維持・保全を図る。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	施設数	施設	1	1	1	1	
	修繕件数	件	5	2	2	1	
成果指標	施設機能不全・不具合件数	目標値	0	0	0	0	
		実績値	0	0	0	0	
投入コスト	事業費計		345	616	33	300	
	財源内訳	国支出金					0
		県支出金					0
		地方債					0
		その他	345	616	33	300	
		一般財源					0
		所要人員 (正職員)	人工	0.01	0.01	0.10	
	所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00		
	人件費合計	千円	70	71	684		

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

施設の老朽化が進み損傷が激しいため、適切な修繕に努めていく。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【266】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 地区市民センター施設維持補修事業				
予算区分	款	02	総務費	所属	地区市民センター
	項	01	総務管理費		
	目	11	地区市民センター費	連絡先	0594-31-5811
	細目	002	施設維持補修費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
各地区市民センター (桑部・在良・久米)	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
○ 8 地区市民センターを安全かつ適正な状態に維持するための修繕工事を緊急性に応じ実施する	市直営の施設であり、維持補修は市が行うべきである。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
施設の補修や設備等の修繕を行い、安心安全な施設として利用できる状態を維持する	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初
対象指標	対象施設数	施設	8	8	8	8
	施設維持修繕件数	件	29	20	23	20
成果指標	施設の不具合件数	件	0	0	0	20
		目標値 実績値	0	19	23	
投入コスト	事業費計		3,666	2,786	2,016	941
	財源内訳	国支出金				0
		県支出金				0
		地方債				0
		その他				0
		一般財源	3,666	2,786	2,016	941
	所要人員 (正職員)	人工	0.30	0.30	0.30	
所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00		
人件費合計	千円	2,092	2,124	2,051		

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

各地区市民センターの経年劣化に伴う修繕箇所が増加している。優先度の高いものから着実に修繕していきたい。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

[924]

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 長島町総合支所施設維持補修事業				
予算区分	款	02	総務費	所属	長島地域振興課
	項	01	総務管理費		
	目	10	総合支所費	連絡先	0594-42-4111
	細目	002	施設維持補修費		

事業の概要		(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)
対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	長島町総合支所	
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	<p>○長島町総合支所の施設・機械設備等の補修を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物関係修繕 (窓、建具他) ・機械、設備関係修繕 (電気、機械、空調他) <p>○庁舎防水改修工事 (H26~H31)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨漏りが著しいところから順次防水改修を施工する。 ・H27本館南側1階屋根防水改修 	
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	修繕を適正に行うことにより、庁舎機能の維持を図り、来庁者、職員が安全に利用できるように努める。	
	公民連携の前進	<p>公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。</p> <p>○ ある ● ない</p> <p>理由</p> <p>現状維持が妥当である。</p>

事業活動と成果		(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)					
区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	施設数	施設	1	1	1	1	
	修繕件数	件	20	24	21	20	
成果指標	修繕実施率	%	目標値 100.0	100.0	100	100	
			実績値 100.0	100	100		
投入コスト	事業費計			29,332	6,242	6,696	2,686
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金		22,500			0
		地方債					0
		その他					0
		一般財源		6,832	6,242	6,696	2,686
		所要人員 (正職員)	人工	0.10	0.10	0.15	
	所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.10		
	人件費合計	千円	697	708	1,366		

進捗評価		(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)
<p>成果は計画どおりにあがっているか。</p> <p>○ あがっている ● 横ばい ○ あがっていない</p> <p>H28年度の方向性</p> <p>○ 拡充 ○ 休止廃止 ● 現状維持 ○ 見直し ○ 縮小</p>	<p>施設の老朽化が進むため修繕費は増加していくと思われ、今後も引き続き計画的にメンテナンスを行う必要がある。</p>	

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【991】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目08 中学校施設維持補修事業				
予算区分	款	10	教育費	所属	教育総務課
	項	03	中学校費		
	目	01	学校管理費	連絡先	0594-24-1237
	細目	003	学校管理運営費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
桑名市立中学校	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由 法的に施設管理者は設置者に限定されているため
○中学校施設を維持管理するため各種保守点検などを行う。 ・陵成中学校都市ガス管入替 ・水道設備等修繕 ・その他維持補修修繕	
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
施設整備を良好な状態に保ち、教育活動が支障なく行われるとともに、利用者の安全確保、快適な教育環境の提供を図る。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初
対象指標	市立中学校数	校	9	9	9	9
活動指標	修繕件数	件	292	214	178	300
成果指標	施設維持管理上の不具合件数	件	目標値 0	0	0	0
			実績値 0	0	0	0
投入コスト	事業費計		36,218	21,069	44,337	19,956
	財源内訳	国支出金				0
		県支出金				0
		地方債			16,300	0
		その他	1,231	43	44	48
		一般財源	34,987	21,026	27,993	19,908
	所要人員 (正職員)	人工	0.09	0.27	0.35	
	所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.06	0.17	0.20	
	人件費合計	千円	831	2,507	3,073	

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

小学校より施設が大きい中学校も校数が多く、また教育施設も老朽化が進んでいるので、保守点検等の結果及び学校要望に基づいて計画的に修繕を行う。多くの学校施設では、建設後、長期間経過しているため、施設の修繕件数は年々増加している。安全で快適な教育環境を保つためには、更に経費が必要。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1779】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目02 施設整備事業				
予算区分	款	03	民生費	所属	地域介護課
	項	01	社会福祉費		
	目	10	養護老人ホーム費	連絡先	0594-24-1489
	細目	003	施設整備費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
養護老人ホーム 桑名市清風園	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ● ある ○ ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
○養護老人ホーム 桑名市清風園の施設整備を行う。 ・建築年度は昭和58年度であり、国・県の補助金等を活用して大規模な改修工事を行う。なお、小規模な施設維持補修・修繕については、別途、指定管理者の管理業務等として実施する。 【養護老人ホーム 桑名市清風園】 老人福祉法(昭和38年法律第133号)に基づき、環境上の理由及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な者を入所させて養護するとともに、その者が自立した日常生活を営み、社会参加活動に参加するために必要な指導及び訓練その他の援助を行うことを目的とした施設である。入所定員50名。	指定管理者制度により社会福祉協議会が管理・運営を行っており公設民営の手法をとっているが、民間関与の幅をさらに広げられるか継続的に検討する。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
清風園の入所者が安心安全に暮らすことができる施設にする。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	施設数	施設	1	1	1	1	
活動指標	工事件数	件	2	1	0	0	
成果指標	施設維持管理上の不具合件数	件	目標値 2	1	0	0	
			実績値 2	1	0		
投入コスト	事業費計			34,688	2,268	0	0
	財源内訳	国支出金	千円				
		県支出金		14,381			
		地方債					
		その他					
	一般財源	20,307	2,268				
	所要人員 (正職員)	人工	0.00	0.00	0.00		
所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00			
人件費合計	千円						

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

・老朽化が進む桑名市清風園で入所者が安心安全に暮らすことができるように、小規模な施設維持補修・修繕は継続的に実施しているが、本事業の大規模な改修工事については現在のところ実施の予定はない。